



基本領域 精神科専門研修

連携

- 京都大学精神科専門医研修プログラム
- 神戸大学病院連携施設 精神科専門医研修プログラム
- 京都府立洛南病院精神科専門医研修プログラム
- 兵庫県立ひょうごこころの医療センター研修プログラム
- 大阪赤十字病院精神科専門医研修プログラム

1. 精神科の理念・特色

公立豊岡病院精神科は、地域の中核的综合病院の有床精神科である。一日外来者数は80名あまりである。急性期対応を中心として閉鎖病棟51床の病床を有する。年間に約200名の新規入院に対応し、電気けいれん療法(ECT年間300件程度)、クロザピン治療など、急性期から難治例までの入院に対応している。

作業療法士1名、公認心理師2名が在籍しており、入院および外来の作業療法、統合失調症の心理教育やアルコール依存症のグループワーク、認知行動療法やマインドフルネスストレス低減法などを実施している。精神科ソーシャルワーカーは3名で、ケースマネジメントを行っている。また、訪問看護・訪問診療(アウトリーチ)にも参画している。

他科との連携にも力を入れており、精神科リエゾンチームにより、せん妄ケア活動等、回診や対診を行っている。緩和ケアチームにも参与している。

また当院は、認知症疾患医療センターの指定を受けており、認知症の鑑別診断や周辺症状の治療等、高齢化の進む地域のニーズにも対応している。

以上、当院精神科は、但馬および丹後西部における、幅広い疾患と患者層をカバーし、急性期からリハビリテーション、地域ケアまでを包括的に提供する、地域精神科医療の中心的な役割を果たし、他科との連携、地域とともに育つことを理念目標として、現在も試行錯誤中である。

2. 目標・プログラム

ア. 目標とする医師像

患者の人権を尊重し、精神・身体・社会・倫理の各面を総合的に考慮して診断・治療する態度を涵養し、近接領域の診療科や医療スタッフと協力して、国民に良質で安全で安心できる精神医療を提供することを使命とする。

イ. 経験できる診療、技術

高齢化がすすんだ広大な診療圏をもち、3次救急にあたる総合病院の有床精神科である。精神科急性期治療病棟としては、入院は器質性から学童関連まで幅広く対応し、診療圏内の精神科病床への新規入院例の約半数を受け入れている。

認知症疾患医療センターを引き受けて、認知症の鑑別診断や周辺症状への対応を行っている。他科との関係では、リエゾンチームによるせん妄等コンサルテーションにも積極的に対応している。緩和ケアチームへの活動にも参画している。

公的病院であることから警察や行政を通じた事例化にも対応している。刑事精神鑑定(正式鑑定、起訴前嘱託鑑定、起訴前簡易鑑定)の依頼や医療観察法指定通院医療機関として司法事例にも取り組んでいる。

保健所や知的障害者施設の相談診療など地域保健医療での役割も大きい。

3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
午前	8:30~12:00 外来・病棟診療 ECT	8:45~12:00 外来・病棟診療	8:30~10:00 外来・病棟診療 10:00~ 集団精神療法 (アルコール)	8:30~12:00 外来・病棟診療 ECT	8:30~12:00 外来・病棟診療	
午後	13:00~17:15 外来・病棟診療	13:00~15:00 外来・病棟診療 14:00~ リエゾンラウンド	13:00~15:00 外来・病棟診療 15:00~16:00 カンファレンス (新患・ベッドコントロール) 16:00~17:15 カンファレンス (アウトリーチ外来等)	13:00~17:15 外来・病棟診療	13:00~17:15 外来・病棟診療	
時間外	ECTカンファレンス クロザピルカンファレンス		月1:診療会議 行動制限最小化委員会			

1年次:病棟診療、リエゾン

2年次以降:病棟診療及び外来診療(リエゾン含む)

4. 指導医・スタッフ

認知症患者 医療センター長 高石 俊一 たかいし しゅんいち	認知症患者医療センター 副センター長 兼部長 三木 寛隆 みき ともたか	医員 桂木 賢太郎 かつらぎ けんたろう	医員 安東 宇揚 あんどう たかあき
出身 京都大学 S47	出身 京都大学 H18	出身 鹿児島大学 H27	出身 藤田保健衛生大学 H28
専門 臨床精神医学全般	専門 臨床精神医学全般, 司法精神医学	専門 臨床精神医学全般, 依存症	専門 臨床精神医学全般
認定 精神保健指定医	認定 精神保健指定医, 日本精神神経学会 専門医・指導医, 日本医師会認定産業 医, 臨床研修指導医	認定 日本精神神経学会専門医	認定 日本精神神経学会専門医, 日本医師 会認定産業医
医員 酒井 弘人 さかい ひろと	専攻医 六田 泰央 むつだ よしてる	専攻医 畑 京佑 はた きょうすけ	
出身 神戸大学 H29	出身 京都大学 H30	出身 京都大学 H31	
専門 臨床精神医学全般	専門 臨床精神医学全般	専門 臨床精神医学全般	
認定 日本医師会認定産業医			

5. 診療実績

疾患別入院数・外来数

疾患	外来患者数(年間)	入院患者数(年間)
F0	479	18
F1	121	25
F2	861	81
F3	375	43
F4 F50	954	11
F7 F8 F9	103	35
F6	3	0
その他	105	24

精神科上位疾患・性別 退院患者数

	男	女	合計
統合失調症	37	48	85
双極性感情障害(躁うつ病)	7	8	15
パーキンソン病	1	12	13
うつ病エピソード	4	6	10
てんかん		10	10
アルコール使用(飲酒)による精神及び行動の障害	4	2	6
急性一過性精神病性障害	2	3	5
アルツハイマー病	2	3	5
詳細不明の認知症	3	1	4
重度ストレスへの反応及び適応障害	3	1	4
摂食障害		4	4
せん妄、アルコールその他の精神作用物質によらないもの	2	1	3
持続性気分[感情]障害		2	2
広汎性発達障害	2		2
神経系のその他の変性疾患, 他に分類されないもの	7	15	22

(2020年)

先輩医師の声

当科での研修では、卒後3年次より主治医として診療に従事することになります。症例は非常に豊富であり、クロザリルやECT 症例を含めて、それぞれに主体的に関与することとなります。科内の雰囲気は明るく、気軽に上級医に診療における疑問点を尋ねたり、助言を得たりできるサポート体制が整っていますので、研修中に困ることはありません。

当院ならではの研修内容として、当院が当地の拠点総合病院であることから、リエゾンや救急科対応などで他科との連携を求められることをはじめ、地域の保健所での相談業務や断酒会活動といった公衆衛生業務にも関与することも挙げられます。当地を包括した視点で精神科医療を考えることが求められ、精神科医として多角的な物事の見方を獲得できることも魅力の一つです。

また当地周辺には精神科病院が少ないことから、転医せずに継続した通院をされる方が多く、その患者様の過去のカルテ(紙カルテ時代を含む)にアクセスしやすいことも、長期的な病態推移を把握する面で、質の高い精神科研修に有用です。

当地は兵庫県の北部に位置し不便なイメージが先行しますが、但馬空港より伊丹空港に約35分でアクセスできること(東京まで約2時間)から、各地で開催される勉強会や講習会にも参加しやすいのも隠れた魅力です。

最後に、当科は在籍している医師の年代層が比較的若く、やりたい事に直ぐにチャレンジできるフットワークの軽さが最大の特徴です。皆さんと一緒に仕事をできる日を楽しみにしています。

医員 安東 宇揚